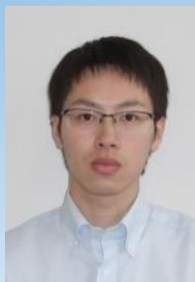


～ 先輩からの声 ～



殿 大志 (建築技師)

2016年入庁

まちづくり推進課

志望動機

子どもの頃から建築に関係する仕事に携わりたいという思いがあり、大学も建築学科に進学し、卒業後は民間の建設会社で現場監督をしていました。

県外の工事現場で仕事をする事が多く、何か地元で建築の仕事で貢献できることはないかと考えていたときに、タイミングよく地元である宇陀市で建築職の募集を見かけて受験しました。

担当業務

現在は市が管理する施設の営繕工事や設計業務の発注に関わる積算や、工事の管理をしています。

また、まちづくり推進課では住宅の耐震診断や耐震改修などの補助事業を行っており、補助金の交付に関する事務や、国・県からの交付金に関する事務を行っています。

やりがいについて

営繕工事では、設計段階で把握しきれない事が工事に入ってから判明することがあります。そのような事態に対応するため、工事や工事監理を請け負った業者、施設関係者との調整が必要になります。それぞれの立場の考えや限られた予算の中で調整をすることは難しいですが、工事が竣工したときに良いものができたと言っていただけたり、利用者の方が喜ばれているのを見ると、努力した甲斐があったなと思います。

市職員のイメージは

草刈りや道路の補修などは業者に委託していると思っていました。実際に委託しているものもありますが、入庁前に思っていたよりも職員が作業していることが多く、こんなことまで職員がしているんだと思うことが今になってもあります。

公務員の仕事は法令に則ったものが基本となります。自分の仕事に関わる法令について知ることで、仕事の幅が広がると思います。

受験者に向けて

面接で志望動機や入庁してから何がしたいかなど聞かれることがあるかと思いますが、取り繕った言葉ではなく、自分が宇陀市の職員として何がしたいかということを自分の言葉で伝える方が、面接官にも本気度が伝わるのではないかなと思います。